

I 先行する神の愛（原語：アガペー）

「私たちが神を愛したのではなく、神が（先に）私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです」 I ヨハネ 4 : 10

II 有名な I コリント 13 : 4-8 の愛の原語は、アガペー。

アガペーとは、人間が生み出せない、「神の愛」を示す。

13 : 4-8 の愛の実践は、人間の愛、力では無理。

しかし、先行する神の愛、十字架の愛、命がけの神の愛を信じ、心に父・子・聖霊の三位一体の神が内住される時、私達の心に愛が生まれ、この御言葉を、御父の愛、御子の愛、御霊の実で実践できるように変えられ続ける。

個人的にも、ライオン教会としても、互いに神の愛を受けて、愛し合う。今も、これからも。神の愛を受けて成長し続ける！

III 本日の箇所の「愛」の所に、イエス様の名を入れるとぴったりと来る。

イエス様は、素晴らしいお方です！

「イエス様は、寛容（原語＝長く苦しむ。私達の苦しみが長くなっても、共に苦しんで下さり、私達の苦しみを背負って下さる、寄り添って下さる）であり、

イエス様は親切（原語：いつくしみ深い）です。

また人をねたみません（御父の愛で満たされておられる）。

イエス様は自慢せず、高慢になりません。

イエス様は礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず（私達の利益＝真の救いを求め、十字架で身代わりに死なれました）、苛立たず、

イエス様は、人がした悪を心に留めず（私達が、自分の罪を正直におわびすると、完全に赦され、忘れて下さり、二度と責められない）、

イエス様は、不正を喜ばずに真理を喜ばれます（何でもよしよしとされる盲目的愛ではなく、イエス様の愛は、不正を喜ばずに、真理、正義を喜ばれるバランスのある愛）、

イエス様は、すべてを耐え（どんなことにも踏みとどまって神のみこころを行われる）、

すべてを信じ（詐欺も信じる識別力のない愛ではなく、真実に立ち直ろうとする人を信じて励ます方）、

すべてを望み（望み、期待が高すぎて、人にプレッシャーを与える望み、期待ではなく、私達にふさわしい励ましをして下さる望み、期待を持ってくださる）、

イエス様は、すべてを耐え忍びます（どんな辛い状況からも逃げ出さずに、耐え忍び、様々な痛みによって従順を学び（ヘブル 5 : 8）、私達と共にいて下さる）。

イエス様の愛は決して絶えることはありません（人の愛は、「愛します」と誓っても、変わり易く、絶えてしまう。しかし、イエス様の、私たちへの愛は、永遠に変わらず、永遠に絶える事はない。私達の事を十字架で愛され、今も愛され、これからも永遠に愛して下さる）。

IV もし私が、45年前にイエス様に救われておらず、イエス様の愛を受けていないと仮定しての私の姿＝

「私は、寛容でなく、親切ではありません。

私は、人をねたみます（人と比べ、ねたんだり、自分は不幸と落ち込んだりします）。

私は、自慢し、高慢になります（それは、何かうまくやれた時、自分の力でやれたと誤解するからです。真

実は、もし何かをうまくやれたとしたら、それは、神が、その能力を下さったからなのです。その神に感謝もせず、自分を神の座に置いてしまう)。

私は、礼儀に反する事をし、神に、親に、人に感謝もせず、無礼な者です。

私は、自分の利益ばかり求め欲張りです。

私は、苛立ち易く、怒り易い者です(心の中でも)。

私は、人がした悪を、なかなか赦せず、いつまでも覚えている者です。大分時間が経っても、その人と言いつ争いになった時、「あなたは、いついつ、こんなことをして、私を傷つけたでしょう」と、いつまでも忘れず、責め続ける者です。

私は、不正をして、儲け、不正を正して上の人からの評価が落ちるのを恐れ、真理、正義を貫けません。保身に走り、悪に流されてしまいます。今の世界中の政治家、役人のように。口では、立派なことを言っても(不正が正されるTVは、とても好きですが)、いざ自分が、不正の甘い誘惑を受けると負けてしまう者です(ですから、心の中に正義の勇気を与えて下さるイエス様が必要です)。

私は、すべてを耐える事ができません。すぐにあきらめてしまいます。

私は、すべてを正しい意味で信じてあげる事をせず、識別力なく信じ、騙されてしまいます。結果的に、相手の悪の歯止めとなる事ができません。

すべてを望み(期待をし)、を履き違え、相手を縛り、相手にプレッシャーをかけて、駄目にしてしまいます。子供に、部下に、聖徒に、選手に対して。

※あるオリンピック選手は、メダルを取った後、次のオリンピックを目標していたが、けがで、思うように記録が出ず、国民の期待が重圧となり、自死してしまった。

すべてを耐え忍ぶ事をせず、すぐに楽な方に逃げてしまいます。

私の愛は、変わり易く、冷えてしまいます。

V そのような愛のない私を、私達を、神は愛し、救い、愛の人に変え続けて下さるのです。

何という驚くべき恵み!

心に住んで下さる三位一体の神、父・子・聖霊なる神は、私達の心に愛を与え続けて下さる。

そして私達を、

「寛容で(ある団体に頼まれた人を、受け止めお世話する人へ※証し。神からの愛の奇蹟)

親切(雪道に車が埋まっていたら、心から助ける人へ)、

人をねたまない人へ(ねたまず、自分に与えられているものを数え、神に感謝する人、人の喜びを共に喜び人)、

自慢せず、高慢にならない人へ(神、イエス様を自慢し、神に抛り頼む謙遜な人に変えられ続ける)。

礼儀に反する事をせず、神と人に感謝する人へ、

自分の利益だけを考えず、他の人の事も顧みる人へ、

苛立たず、神の前に静まり、心を落ち着かせる人へ(感情的になり、感情が支配しないように祈る。神が与えられた知性で物事を判断する。怒るのに遅い。神が、今日まで、私に対して、怒るのに遅く、忍耐して下さったかを思う)、

人がした悪を心に留めず(人をすぐに責める事をせず、自らが反省し、自分自身が、今日まで、どれほどの罪、悪を告白し、十字架の恵みで赦され続けている恵みに心を留め、人を赦さない資格はないと自覚し、神の愛で赦す)、

不正を喜ばずに、真理、正義(神の目に正しいこと)を喜ぶ人へ。

主に頼り、すべてを耐え、すぐにあきらめずに踏み止まり、すべてを信じ、信頼して任せ励ます(詐欺に騙される識別力のない信じ方ではなく)、

すべてを望み、どんな時も主を見上げ希望を持つ、人に対して負担になる希望、期待ではなく、人にやる気を起こさせる希望、期待をする人へ、

すべてを耐え忍びぶ人へ（主に頼り、すぐに、逃げ出さず、そこで学ぶべき霊的学科を学び主の姿に成長する）。

自分の愛は変わり易く絶え易いが、神に祈り、神の変わらない愛をいただいて、愛し続ける人」に神は変え続けて下さる。

先行する主の恵み・神の大きな愛・聖霊の交わりにより！